

豊前蔵春学園整備計画〈基本設計概要版より〉

1. 施設整備方針

基本コンセプト

個性を磨き、夢（進路）を実現する学校



■穏やかで親しみやすい校舎

本スライドでは皆様に2点ご説明いたします。

1点目は、どんな学校ができるのか。

2点目は、工事予定と建設中の安全確保。
についてです。

豊前蔵春学園学校経営基本コンセプトは「個性を磨き、夢を実現する学校」です。

豊前蔵春学園の特色は、1年生から9年生までが同じ校舎に集う義務教育学校であるということ、そして小規模特認校だということです。

この二つの特色を生かして、一人一人のよさ・個性を伸ばす教育活動を行います。

さらに、合岩校区は豊かな自然に囲まれ、地域との密接なつながりがあります。

子どもを中心に、教職員、保護者、地域の方とのつながりを大切にして、みんなが楽しく過ごせる、そういう環境を整備していきます。

2. 配置計画

中庭を中心とした豊かな学校空間

既存校舎と増築校舎の間に豊かな中庭を整えます。中庭空間を取ることで、各室への採光・通風に配慮し、心地良い学習環境をつくれます。



校舎の配置についてです。

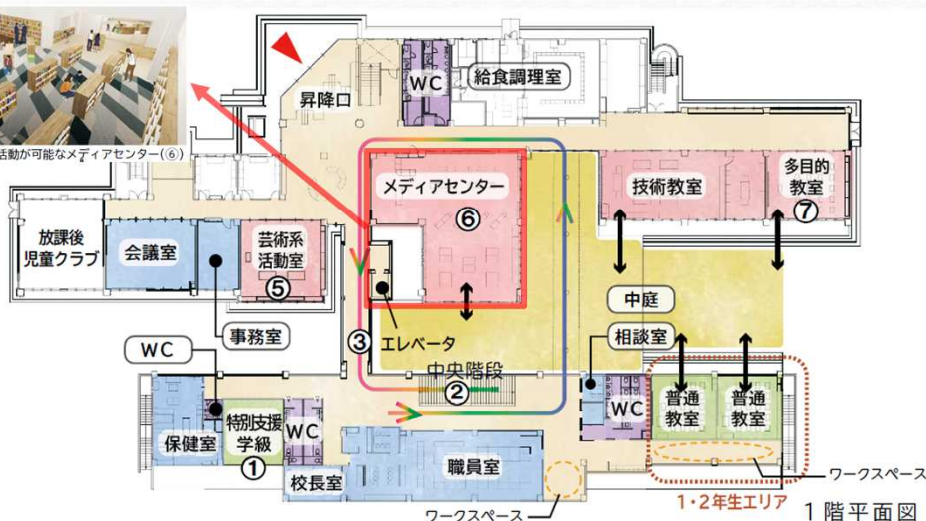
青い線で囲んだ部分が、現在建っている建物です。

この既存校舎棟の南側、赤く囲んだ部分に、新しく校舎棟を増築します。

この校舎配置での一番のポイントは、中庭スペースです。既存校舎と増築校舎の間に、豊かな中庭を整えます。

中庭空間を広くとることで、二つの校舎棟どちらへも採光や通風をしっかりと確保するとともに、子どもたちにとって居心地の良い憩いの空間を作り出しています。

個性を磨く多様な学びの空間



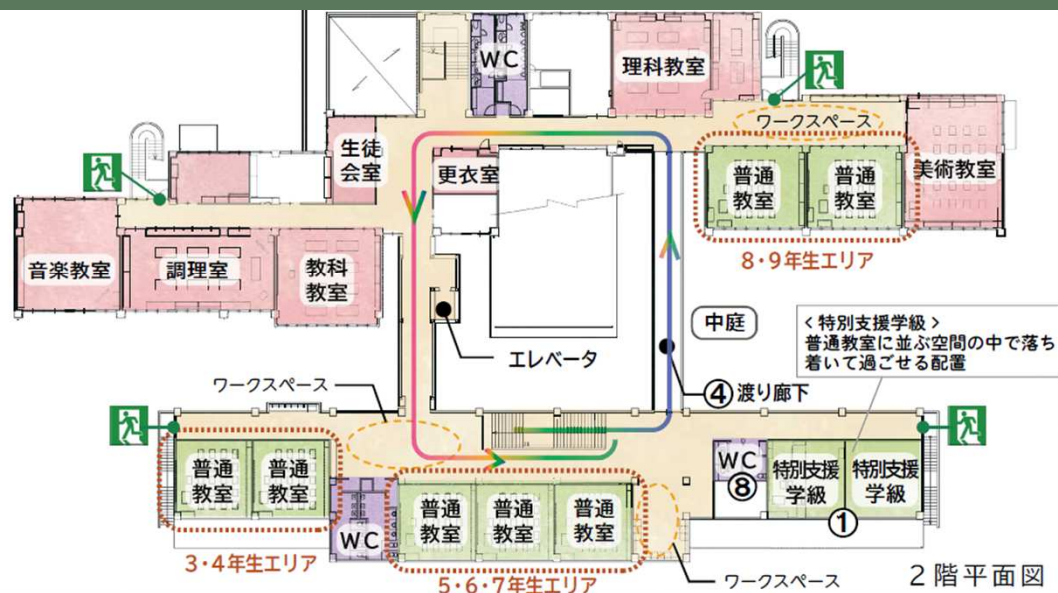
1 階の平面図についてです。

メディアセンターは、これまで狭かった図書室をとりこみ、ひと続きの大きな空間とします。そして図書を広々と配架すると共に、ICT機器も同時に活用できるようにデスクを配置します。体育館を含め校内は、どこでもICT機器が使えるようWi-Fi環境を整えますので、タブレット端末を持って移動すればどこでも学びの場となります。

次に、多目的教室です。合岩小学校では、1・2年生から外国語活動を34時間程度行うなど他校よりも外国語活動に力を入れています。この特色をさらに磨くために、ALTを常駐させることも視野に入れて、この部屋を設置します。子どもたちが、日常的にネイティブな英語と触れることのできる場所にしたいと考えています。また、校内の案内板や各教室に設けるサインは英語を併記して、英語に親しむ環境を整えます。

中間休みや昼休みに、このスペースで低学年の子どもから9年生のお兄さん、お姉さんまでが一緒になってくつろいでいる姿が楽しみです。

9年制を活かした教室配置



2階の平面図についてです。

豊前蔵春学園では、小中9年間で、前期ステージ4年間、中期ステージ3年間、後期ステージ2年間、と3つのステージに区切って指導していくようにしており、そのための教室配置を工夫しています。1・2年生は、職員室に近く、すぐに中庭に出ることができるように1階に。そして、2階左に3・4年生、中央に5年生から7年生、後期ステージとなる8・9年生は学習に集中できるように既存棟に配置しています。

特別支援学級は、小学生は、1階の保健室、トイレ、職員室の近くに配置し、中学生は、2階東側の落ち着いた過ごせる配置とします。

教室の配置のほかに、全校の交流を促す空間づくりを意識しています。近接学年同士が交流しやすいように、校内各所にワークスペース、溜まれるスペースを広く設けます。

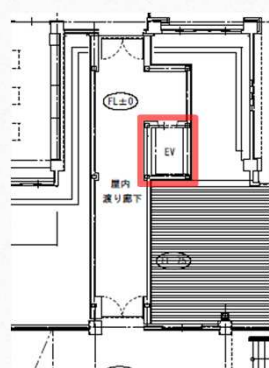
また、校舎間をつなぐ渡り廊下やウッドデッキが、中庭を中心に囲むように作られており、1階も2階も子どもたちが自由に回遊しやすいつくりになっています。

1年生から9年生の子どもたちみんなが顔見知りで、校内どこで出会っても声を掛け合い仲良く過ごしている、そんな学校になってほしいという思いを込めています。

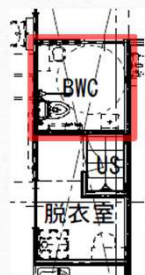
4. 安全・安心な施設環境

子ども、教職員、保護者、地域、誰にとっても安全・安心な施設

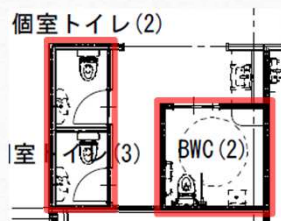
バリアフリーへの対応



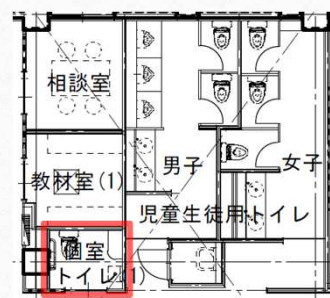
中央渡り廊下にエレベーター



保健室横
バリアフリースイートイレ



2 F 特別支援学級横
バリアフリースイートイレ
だれでもトイレ



1 F 1・2年生横
だれでもトイレ

安全・安心のための施設環境についてです。

学校は、子どもはもちろん、教職員や保護者、来校する方にとっても、安全で安心な施設でなくてはなりません。

そのために、バリアフリー、多様性、避難安全への配慮の視点から施設づくりを進めています。

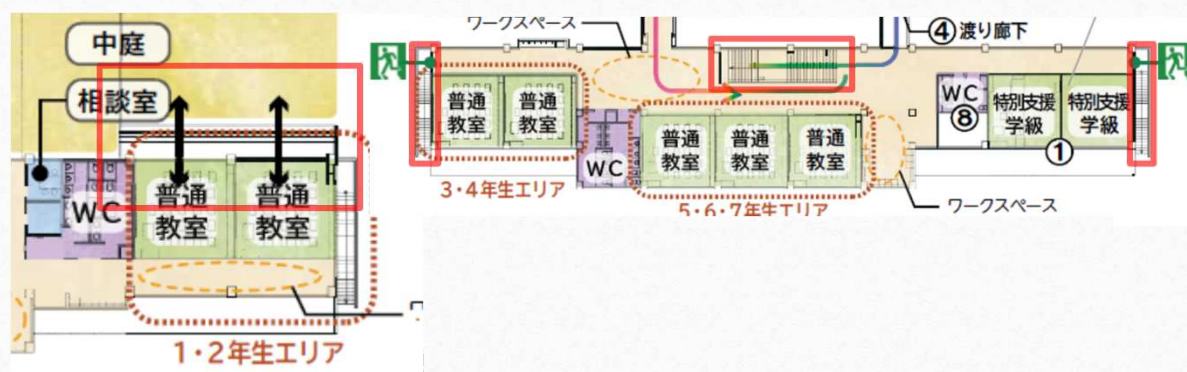
まず、バリアフリーへの対応については、既存棟と増築棟との渡り廊下中央付近にエレベーターを設置しています。これまでは、エレベーターがなく車いすの方や、足を怪我した子どもが2階教室に上がることに困難さがありましたが、これにより解消されます。また、車いす対応トイレを増築棟の1階保健室横と2階特別支援学級横に設置します。

次に、多様性への配慮については、性別に関わらず誰でも入りやすい個室トイレを、増築棟1階の1・2年生教室横と、2階の特別支援学級横にバリアフリースイートイレと共に設置します。バリアフリースイートイレやだれでもトイレ入り口には、ピクトグラムによる案内表示を設置して子どもたちの理解を促します。

4. 安全・安心な施設環境

子ども、教職員、保護者、地域、誰にとっても安全・安心な施設

避難安全に配慮した設計・設備

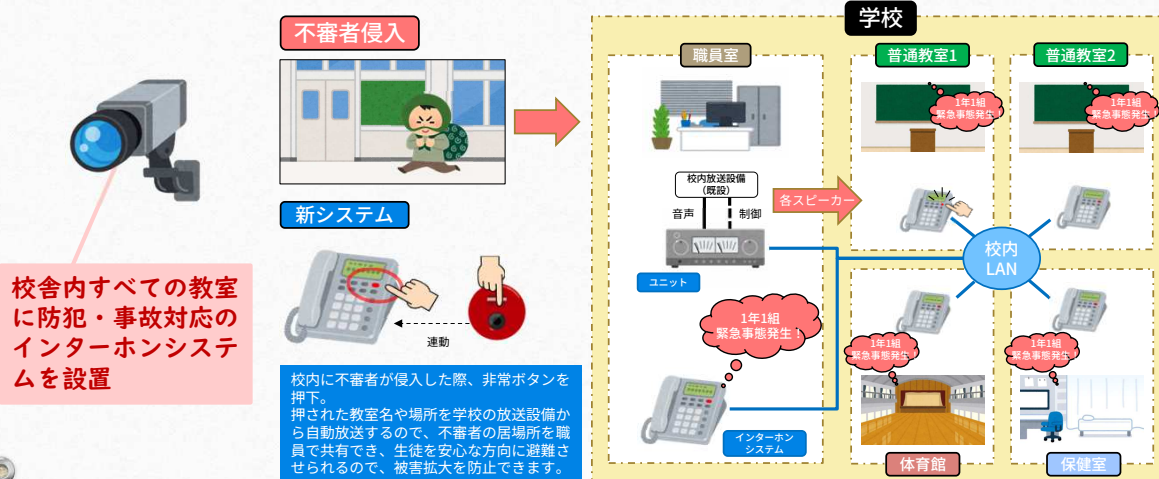


安全への配慮として、増築棟1階の1・2年生はそのまま中庭に避難できる配置となっています。2階の児童生徒は、校舎の東西に設置する避難階段と、中央階段の3箇所から避難が可能です。

4. 安全・安心な施設環境

子ども、教職員、保護者、地域、誰にとっても安全・安心な施設

インターホンシステム（防犯：不審者侵入と居場所を自動放送する）



防犯や事故にすばやく対応するため、新たにインターホンシステムを設置します。
これまでの非常ベルでは、事件や事故が起こったことはベルで分かって、どこでなにが発生したのかわかりませんでした。
導入するシステムでは、事件、事故の現場でインターホンの緊急ボタン、または非常ベルを押すと、不審者のいる場所や、事件、事故の発生場所を瞬時に全校に知らせることができます。
場所がわかれば、教職員がすぐに駆け付けたり、子どもたちを安全な方向から素早く避難させたりできるようになります。

また、これまで1台しかなかった防犯カメラも、犯罪を抑止するために児童昇降口をはじめ5か所程度設置する予定です。

5. 子どもと教師が一体となる施設環境



子どもと教師がふれあう場所づくり

中庭に面した明るい中央階段周辺は1年生から9年生まですべての子どもが集まりやすく、子どもと教師がふれあう空間になります。教職員全員ですべての子どもの成長を見守ります。



■中庭に面した明るい増築棟中央階段 (2)

豊前蔵春学園では、1年生として入学してきた時から9年生になって卒業するまで、教職員みんなで見守り関わっていくことができます。

こうした長所を生かすためにも、増築棟の真ん中に職員室を配置し、その前には広いオープンスペースを作っています。これがもう一つの豊前蔵春学園のアピールポイントです。

全校の子どもたちが、中庭を中心に増築棟と既存棟とを回遊しながら、職員室前の広々とした大階段の前で出会います。

そこには、職員室があり教職員もいて、教師と子ども達とが互いを身近に感じながら過ごすことができる場所となっています。

6. ワークショップで出された意見

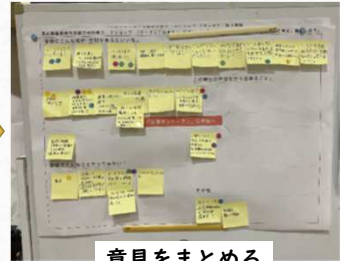
令和5年9月22日 合岩小ランチルームにて



アイデアを出し合う



みんなで検討する



意見をまとめる

「学校にこんな場所があるといいな」

- ✓ きれいな学校（特にトイレ）
- ✓ 子どもたちの小さな溜まる場所
- ✓ ウッドデッキや中庭、ランチができる外部空間
- ✓ 本がたくさん、広くて居心地のいい図書館
- ✓ 1～9年生が交流できる空間 中学生が小学生に勉強を教える場所
- ✓ 常駐でALTのいる場所
- ✓ 子ども・保護者が行きやすい相談室
- ✓ 空調方式を変える 体育館にクーラー

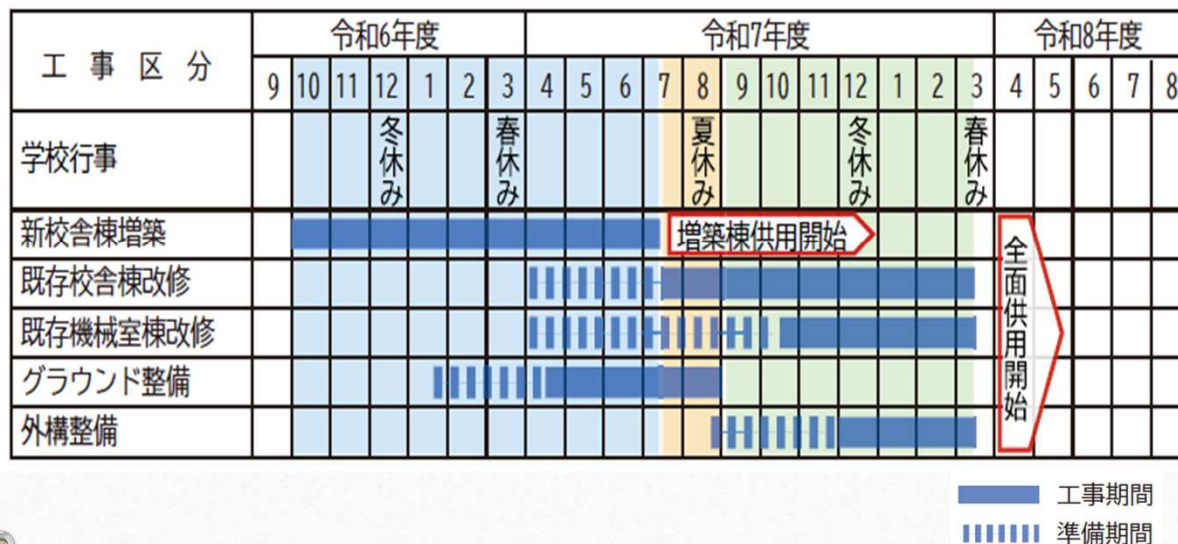
学校づくりにみなさんの意見がどのように反映されているのか、ということについてです。豊前蔵春学園の学校づくりについて、子ども、保護者、地域の方の意見を取り入れるために、令和5年9月22日にワークショップを行いました。

その中でまとめられた意見が、ここに示したものです。

「体育館にクーラー」だけは、実現できておりませんが、「きれいな学校、特にトイレ」、「子どもたちの小さな溜まる場所」、「ウッドデッキや中庭、ランチができる外部空間」等の他の意見はほぼ満たす計画となりました。

皆様からご意見をいただき、それを大切にすることで、子どもを中心に皆さんにとって居心地の良い学校づくりを進めています。

7. 計画概要・事業スケジュール



今年度10月から工事が控えているということで大変驚かれている方もいると思います。令和8年度の開校を目指して設計を進めており、今回の工事に至りました。

工事にあたっては児童、保護者、教職員及び学校関係者の方々に大変ご迷惑をおかけすることとなりますので、どうかご協力をよろしくお願いいたします。

工事期間中の安全に関しては万全を期して臨んでまいります。工事等のお知らせは随時発信していきますので、お気づきの点がございましたら学校教育課学校再編係にご連絡ください。

この表は令和8年度開校に向けた工事のスケジュールを表しています。

今年度10月から早速増築棟の工事に取り掛かり、令和7年度の夏休み中の完成を目指します。その後既存校舎棟の改修を行っていく計画となります。

スケジュールの青い部分が工事の第1段階、オレンジ色の部分が第2段階、緑色の部分が第3段階を表しています。

校舎工事工程図 (第Ⅰ段階)



第Ⅰ段階（スケジュール表の青色）では校舎の増築工事を行います。
工事の間も授業が行われますので、既存の校舎と増築する校舎の間に仮囲いと防音シートを設け、できる限り音や振動等が届かないような対策を図ります。
特に音は授業に支障をきたすことになり、窓を閉め切らないといけないため、季節に関わらず必要に応じて空調をつけて対応することになります。

他にも自転車置き場等を新たに建てますが、児童、教職員等の安全を最優先して工事を行っています。

校舎工事工程図 (第2段階)



夏休みの間に第2段階（スケジュール表のオレンジ色）の工事を実施します。
 緑色で示した箇所が新しく増築した校舎棟です。増築校舎棟が完成したら、既存校舎から備品、什器等の引っ越しをします。
 引越しが完了し、既存校舎棟が空きましたら、夏休みの間にとっても大きな音や振動等がする改修工事をできる限り終わらせてしまいます。
 工事内容としては、コンクリート等の壁や床をはがしたり、音や振動等が出るものを優先して行います。

校舎工事工程図 (第3段階)



令和7年度2学期以降に第3段階（スケジュール表の緑色）の工事に移ります。

2学期からは増築した校舎が出来上がっていますので、児童はこちらに移って授業を受けることになります。

第3段階では、夏休み中に触らなかった箇所や機械室等を引き続き工事していくことになります。改修が完了し安全対策がとれた特別教室については、順次使用できるようにしていきます。

工事期間中の工事車両の動線については、児童の通学する県道からの道ではなく岩岳川沿いの道を通るようにして、可能な限り児童の動線と重複しないように計画します。

最終的には、令和7年度末で全ての工事を完了させる予定となっており、令和8年度の開校に間に合わせるようになります。